



写真は御大典を喜ぶ中京の子ども達（昭和3年）竹間こども風土記より

## 竹間学区の地域の話1 田畑 裕紀子さん

私は竹間学区文化協議会会長をさせていただいている縁で、平成 25 年に学区の歴史冊子「竹間こども風土記」の編集をさせていただきました。取材の中で「竹間校の思い出 座談会」を開き、いきいきサロンにご出席の皆様から昔のお話を伺いました。その話の中でいただいた「通り」に関するお話をいくつか紹介させていただきます。

大正から昭和初期：女の子はいつも おいちだん(ゴム飛び)をして遊んでましたな。大雨が降ると九条さんの池から地下水路が溢れ、池の鯉も烏丸通まで流れて来た事がありましたえ。昔はあちこちに水路があり、足を付けて遊んでたらしおす。愛染川というのもあったそうどす。明治 44 年に道を広げるまで、丸太町通は道幅も狭うて、道に水まいたら、向かいの御所の石垣に水がかかる程やったと聞きましたわ。